



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 19

2008.11.26 (No.2526)

第2560地区ガバナー／馬場信彦  
 会長／中村和彦  
 会長エレクト／菊池 渉(クラブ奉仕A)  
 副会長／樺山 仁(クラブ奉仕B)  
 幹事／石月良典  
 S A A／明田川賢一  
 会計／杉山幸英

例会日／毎週水曜日12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押ししてください)

■本日の出席会員数:59名中42名  
 ■先々週出席率:83.05%

【先週のメイクアップ】

- [11.13] 加茂RCへ  
 ・渡邊喜彦さん、西川文夫さん  
 ・加藤紋次郎さん
- [11.17] 三条南RCへ  
 ・菊池 渉さん、丸山行彦さん  
 ・石橋育於さん、西川文夫さん  
 ・渡邊喜彦さん、斎藤弘文さん  
 ・平沼潤一さん、加藤紋次郎さん
- [11.18] 三条北RCへ  
 ・菊池 渉さん、田中 仁さん  
 ・斎藤弘文さん、武田真二さん  
 ・藤田紘一さん、杉山幸英さん  
 ・加藤紋次郎さん、成田秀雄さん  
 ・丸山行彦さん、山田富義さん  
 ・西川文夫さん、渡邊喜彦さん
- [11.20] 三条東RCへ  
 ・田中 仁さん、杉山幸英さん  
 ・斎藤弘文さん、石橋育於さん  
 ・熊倉昌平さん、丸山行彦さん  
 ・加藤紋次郎さん
- [11.22] 会員増強委員会へ  
 ・小林敬典さん



「夢をかたちに」

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ



シャコバサボテン

# 会長挨拶

中村和彦 会長



## 相撲界隠語集

- ・お 米 = 給食。武士の給料は米で禄ろく高たかという。そこからきたものらしい。
- ・星 = 女性。金星は女性のこと。
- ・ナメリ屋 = 女部屋。  
ひいきすじ
- ・タニマチ = 最良筋のこと
- ・馬 力 = 酔っぱらったことを、馬力がかかりすぎた、という。
- ・エビスコ = 恵比寿と大黒。大食いのことをエビスコが強いという。
- ・山にゆく = けがをすること。足なら「足山にゆく」、首なら首山。
- ・ス カ す = 肩すかしから出て、お座敷から芸者と逃げ出すのを、星とすかす、という。また飲み逃げること。
- ・押 す = ご馳走になること。
- ・土佐衛門 = 水死体。江戸時代の力士の名で、隅田川に投身自殺したことから、一般的にも使われている。
- ・どんぶり勘定 = 大正末期まで一銭玉や五銭玉はドンブリに入れて計って計算していた。大まかな計算。
- ・銀 流 し = おしゃれの意。かつよく相撲とると「あの野郎、土俵でまで銀流しをしゃがって」などという。
- ・頭が重たい = 頭が弱いこと。

## ニコニコBOX

中村和彦さん

栗岳も頂上に雪が降りました。いよいよ冬が来ました。荻根澤さん、卓話楽しみにしています。

荻根澤隆雄さん

今日は皆様のお耳汚しとなりますが、よろしくお願い致します。

菊池 渉さん

秋のロータリー親睦旅行、欠席で残念でしたが、キャンセル料が返ってきて少々ニコニコです。

渡邊喜彦さん

大変ご無沙汰しております。もう席が無いかと心配して来ましたが、ありました。もうしばらくめんどろをみてください。

小林敬典さん

何かいい事ある感じ。

平原信行さん

地区大会申し込んでおいて参加できませんでした。急な入院で昨日退院しました。ご迷惑おかけしました。

松永一義さん

地区大会ご苦労様でした。

佐野勝榮さん

今日は久しぶりに天候がいい日です。

荻根澤さんの卓話を楽しみにしています。

五十嵐昭一さん、熊倉昌平さん、樺山 仁さん、

米山智哉さん、石塚欣司さん、船越正夫さん

高橋 司さん、会田二郎さん、小越憲泰さん

帰山 肇さん、若槻八十彦さん、斎藤真澄さん

石月良典さん、山田富義さん、丸山行彦さん

捧 賢一さん

荻根澤会員、卓話ありがとうございます。

楽しみにしております。

川瀬康裕さん

所用で早退致します。

11月26日分 ￥ 25,000

今年度累計 ￥616,000

- ・アンマする = 稽古をつけてもらうこと。上位の力士にむかって「三番ほどアンマして」と頼む。
- ・飛行機に乗る = 逃げて帰ること。スカスと同じ意味だが、自分が不利なので逃げ帰る場合に使う。
- ・お 務 め = 手抜きのこと。仕事や稽古をいいかげんにしたとき「お務めしやがって、この野郎」などという。
- ・ハガミを入れる = 借金すること。相撲界にはハガミという和紙があり協会や親方に借金する時の証文用紙。
- ・カマシ屋 = 質屋。
- ・タコになる = 天狗になる。
- ・灰 皿 = 八方美人。これは相撲の世界で一番嫌われる。
- ・チャンコ = 食事のこと。
- ・割 子 = 飲むこと。  
一升壺いっしょうびんを割ってしまって酒は一滴も残っていないという意味からでた隠語。

## 幹 事 報 告

石月良典 幹事

◎いからしの里よりサンタクロース派遣依頼が届いております。

と き 12月17日(水) PM2:00~3:00

ところ いからしの里 デールーム

(参加者、会長、幹事、社会奉仕委員 4名、合計 6名)

◎十日町北RCより創立40周年記念式典御出席お礼状が届いております。

◎馬場ガバナー事務所よりロータリーレート変更のご案内が届いております。

100円(現行) → 12月1日より 96円

◎指名委員会より次年度役員、理事候補が提出されました。12月3日、年次総会ですので、それまで立候補希望の方は指名委員会にご連絡ください。

◎南京大虐殺の映画上映を12月5日(金) PM6:00~三条中央公民館で行います。

# 12月のお祝い

## ◎夫人誕生祝

- 1日 若槻由美子さん (八十彦さん)
- 6日 熊倉純子さん (博之さん)
- 18日 荻根澤愛子さん (隆雄さん)
- 18日 菊池まゆみさん (渉さん)
- 25日 佐藤成子さん (武さん)
- 31日 坂上洋子さん (昭さん)

## ◎結婚記念祝

- 4日 渋谷健一さん (トヨさん)
- 9日 杉山幸英さん (敏子さん)

## ◎100%出席賞

- 10年 小林敬典さん
- 1年 若槻八十彦さん



## 卓 話

### 「こんにちは、思う事」



#### 荻根澤隆雄 会員

今、私は衆議院議員の中山成彬氏の「日教組に関する発言」と田母神元幕僚長の「日本は侵略国家であったか」論文にとっても興味があり勉強中ではありますが、今日はバラク・オバマ氏に関連しての

アメリカの二つの政党に興味がありましたので、その辺を中心にお話をさせて頂きたいと存じます。それと以前にもお話をさせて頂いた内容も交えながらの話と成ります事お許し願います。

第44代米大統領、アメリカの次期大統領は民主党のバラク・オバマ氏、黒人で初の大統領の誕生であります。

私は当初、マケイン氏が選ばれて欲しいと願っておりました。

残念ながら結果はご存知の様にマケインは名前の通り「負印」でありました。

少し話が逸れますがアメリカの歴代大統領でトーマス・ウッドロウ・ウィルソン、アメリカの第28代大統領であります。1913年から2期8年と職を務められた大統領、このウィルソン大統領の名言と言いますかこの様な事を言っております。

これも以前にお話をした事があります。1時間のスピーチなら直ぐにでも出来る、20分のスピーチなら2時間の準備があれば出来るが5分のスピーチだと一昼夜の準備時間が必要と紹介されておりました。

このウィルソンの言葉を改めて思い出したのは今

回のオバマ氏の勝利宣言演説の様子をTVニュースで聞き入った時であります。演説の全てを聞いた訳ではありませんが訳文がテロップに流れ、その内容に引き込まれました。

果たして彼(オバマ氏)は何時どの時点で勝利を確信し演説の文言を作り得たのかとふっと思いました。

それとも、即興だったのでしょうか？

さて、改めて演説文をネットで取り、印刷をし読みました。

どれほどの綺麗な言葉を使っているか、寧ろ素朴なまでの言葉に感じながら読みいって行くうちに私は涙が出ました。さほどのインパクトのある言葉ではないのですが、正に一人一人に語り掛けて行く様な感じさえも覚えました。

シカゴの公園での勝利宣言演説の様子がTVニュースで流れ、その画面の中の聴衆者の中に涙している方が多くいましたが、その場に居て聞き入っていたら凄く感動的だったのかとも感じましたが、英語が分からない私には有り得ない事であります。

残念ながら I Can Not Englishであります。

「アメリカはあらゆる事が可能な国です。」から始まり改めて民主主義力を絶大的に呼びかける、そして今回の選挙に「老若男女・金持ちも貧乏人も、共和党員も民主党員もヒスパニック・アメリカ先住民・アジア人・ゲイもストレートも、障害者も障害の無い人たちも、アメリカ人は答を出しました。」と全てのアメリカ人たちが答を出したと語り掛けアメリカは過去もこれからも全ての州が一致団結した国である事、合衆国である事を再認識させたのであります。

そして長い歴史の中で「私たちは今まで余りにも

長い間あれは出来ない、これは出来ないと言われ続けてきました。」この辺りはかなり黒人を意識した様な雰囲気があります。「そして今夜、アメリカから答をもらったお陰で、手を伸ばす事が出来たのです。歴史を自分達の手で握る為、より良い日々への希望に向けて自分達の手で歴史を変える為に」と話が続きます。

そして選挙戦で戦った相手のマケイン議員とペイリン知事を称えた後で、今戦いの道程を旅路と表現をし、共に旅をしたパートナーに感謝の意を現しました。何よりもミシェル・オバマ夫人を16年前からの最高の親友と言いつつも最愛の彼女と表現しました。

そして、二人の娘でも有りますサーシャとマリアには「約束通りホワイトハウスに入るにあたって新しく飼う子犬を一緒に連れて行けるよ」と微笑ましい場面もあった様子です。

これらも本当にアメリカ人らしい語りでも有ります。

何れにしても世界の覇者でもあるアメリカ合衆国、パックス・アメリカナが100年に一度と言われている未曾有の経済危機に見舞われ足元から崩れかけている大きな局面での新大統領のオバマ氏には難問なる課題がいくつも待ち受けております。

選ばれ方にシステムの違いはあるにせよ、踏襲を〔ふしゅう〕或いは未曾有を〔みぞうゆう〕と平然と誤読を繰り返している日本の首相と違って、多くの国民をバックにつけそれらが大きな力を持った支持者として動ける新大統領、国民が変革を求めて選ばれた次期大統領のオバマ氏、党を超えて存分に力を発揮してくれるものと希望致しますし、そうでなければなりません。

強大国家・一大消費国家でもありますアメリカ発の経済危機が世界のあっちこちに飛び火しております。飛び火した国々も各々で消火活動をしておりますが火元でも有りますアメリカが早々なる火消しを行って経済復旧に努めてもらいたいと願っておりますが、冒頭に私がマケイン氏に勝って欲しかったのにはそれなりの理由があります。『日本人が知らない「二つのアメリカ」の世界戦略』なるタイトルの本があります。著者は深田匠さんと云う政治思想活動家であります。

サブタイトルでは「強い日本」を待望する共和党、「弱い日本」を管理したい民主党と記してありました。

この二大政党を「共和党は象、民主党はロバ」と例えて「共和党は伝統を重んじ、落ち着きがあり、高貴な気位を持つ、厳格な頑固者」一方「民主党は成り上

がりの的で、敏感にして小利口だが、自分の事を何も分かっていない陽気な間抜け」と評しております。この酷評は深田氏が言っているのではなく『ザ・ダメージ』と云う本から引用されておりました。深田氏はこれを陰と陽、リアリズムとポピュリズム、武の誇りと商の利、規律と享楽をそれぞれ代表する政党と記し、両政党を具体的に比較されております。

民主党ですが労働運動やマイノリティの集票力が大きく、嫌日親中で容共主義的・国際主義で国連へのスタンスも好意的である。内政面では、中絶完全自由化・死刑廃止・不法移民容認・労組重視・結婚制度反対・同性愛容認・宗教多様化容認などが特徴であり、大きな政府志向のリベラル思想の政党。

共和党は伝統的保守層とキリスト教原理主義勢力の集票に支えられ、伝統的に親日反中であり、反共産主義の思想が強い政党で力による秩序と強力な同盟関係による安全保障が基本であり、国益重視の反国際主義で国連に対しては反感を持っている、内政面では中絶禁止・死刑制度存続・家族制度重視・企業重視・不法移民反対・銃規制反対などが特徴でいわゆる小さな政府志向の伝統的保守思想の政党と比較をしております。

続けて歴史的背景としてこの様な事が付け加えてありました。国を二分した南北戦争の際に南部側で奴隷制を支持していたのは寧ろ民主党であり、北部側で奴隷解放を唱えていたのが共和党であった。そして奴隷解放宣言を行ったA・リンカーンは共和党の最初の大統領であった……と。

南北戦争で敗北した民主党は勢力挽回の為に新しい移民をターゲットに「労働者や貧民の党」をアピールし党員勧誘を行った。

一方、共和党は奴隷制に反対すると同時に「黒人も白人も平等であり、黒人優遇は白人への逆差別になる。」と一貫して正論を主張。

翻って奴隷制支持の民主党は一転して「黒人優遇政策」を出し企業の人社や大学の入学などにおいて試験成績に関係なく一定割合の黒人をパスさせる法律を作ったりし、いわゆる「黒人えこひいき政策」を推し進めた歴史があると記して有りました。

私は単純ですので、日本国は親日でも無い相手に何故媚び諂うのかと思う方であります。アジア三国も含め反日が故に相手国即ち日本に対して傲慢な態度を取る訳であります。自国の事は棚に上げてでもです。

米民主党はクリントン政権時に山一証券、東邦生命、長銀と買い叩いてアメリカ資本参加にした経緯があります。そんな民主党は日本国から見ればとんでも



ない政党と見て取れます。

その辺に日本の国益を考えれば共和党が良い事は明白と感じます。よって共和党マケイン氏と願っておりました。

それと、恥ずかしい事ですがアメリカ国民(特に白人)は土壇場になったら白人が優位になるべく思考・行動を取るのではないかと考えておりました。これは私の考え方そのものが間違っておりました。反省しなければと思いました。

今回のオバマ氏は民主党で有ります。先程に党を超えて存分に力の発揮を希望と言ったのは、今アメリカ国民の多くの人々は「何かを変えたい、変わるものなら変わりたい、希望と夢がもてるのなら委ねたい。」と云う変革に対しての強い気持ちからオバマ氏を選んだものと私は強く感じております。

両政党の過去は過去として演説にあったとおり「Yes, We Can」で新しき考え・新しき政治思想の下で世界の範たるアメリカ合衆国が生まれる事を望みます。

今、世界中で余りにも多くの失業者が出ております。一時日本では大リストラ時代なる時期がありました。その再来であります。企業経営者が力を合わせて厳しい難局を乗り越えるべく、東国原知事ではないですが「どげんかせんばいかんばい」ではないでしょうか。

先月ですがある講演会に行きましたが講演会の始まる前に会長さんの挨拶がありましてその中で二つほど気になったことが有りましたので、少しご紹介をさせていただきます。

政府の追加経済対策の柱の一つでもあります定額給付金の総額が2兆円あります。その2兆円の5倍以上の話ですが、11兆1000億円なる数字があります。この金額は何を表しているのかと言いますと日本国内で年間に廃棄即ち捨てられている食料の金額だそうです。私は元来、統計の取り方はいい加減だと思う方なので実際はこんな数字ではないと感じます。いわんやもっと大きな数字ではと感じます。我が家でも冷蔵庫にいつまでも保存しつつも賞味期限或いは消費期限が過ぎたとは言ってゴミステーション行きがかなりあります。仏壇のお供え物もいつの間にか食べられない状態になってやっとなたり、頂き物もどこかに片付け忘れて、気が付いたときは期限切れと相成り矢張りゴミと化しております。

恐らく年間に数万円分は廃棄している感じがします。

外食ですがどうか皆様におかれましては飲食店ではお腹と相談をして残さない様に無駄無く飲食をして頂きたいと思ひますし、料理屋さんも残さずに綺

麗に食して頂けるのが至上の喜びかと考えます。

「過ぎたるは及ばざる如し」なる言葉もあります。食べ過ぎ或いは栄養の取り過ぎで逆に健康を損ねては何もなりません、お互い気を付けましょう。

さて、定額給付金支給方法で「国民を馬鹿にするな!!」等と政府がやり玉に挙げられていますが、それ以前に年間11兆円なる食料を捨ててかつ生活習慣病で医療費を費やしている馬鹿で愚かな事をしているのも日本国民であります。世界では食糧難で飢餓に苦しんでいる国々が多くあると云うのに…であります。

11兆円という数字がもう少し身近になるように、ここで算数をやってみます。

データでは国内での食料廃棄数量が年間に2,000万トン、11兆円を2,000万トンで割りますとトン当たり55万円になります更にKgあたり幾らになるかと云いますと550円になります。Kg550円の食料を年間2,000万トン捨てている実態がわかります。

今ひとつの見方で11兆円を日本の人口で割りますと一人当たり年間に8万6千6百円を捨てている計算になります。

なんだか怖い数字になりました。時給860円のパートさんが100時間少し稼いだお金を捨てている様なものです。

今、世界同時不況の真只中であって、日本も大変な経済危機に直面致しております。

そんな中、先日企業視察で群馬県太田市の新潟原動機(株)と埼玉県は比企郡の三井精機(株)の2社を訪問して来ました。

新潟原動機は旧新潟鐵工所のグループ会社で内燃機関、特にディーゼル機関・ガス機関・ガスタービン・船舶装置などを製作している重厚長大産業の一つでもあります。

ご存知の様に新潟鐵工所の倒産で5年前にIHIに買い取られたのですが当時の人員が960名で売上が200億円。それが今は、人員は変わらずに売上が3倍の600億円になっているそうです。相当なる生産合理化を推し進め売り上げシェアを伸ばしたのであります。

一方の三井精機は工作機械やコンプレッサーを作っております。工作機械はマシニングセンターと特殊な研削盤を得意としており、コンプレッサーではコベルコや日立とほぼ肩を並べて24%のシェアを誇っております。景気の悪化で厳しい状況下と思いきや殆ど影響が無いとの事であります。近年は独自開発をしたオイルフリーのコンプレッサーが人気を呼んでいるそうです。オイルフリーとは油を使用していない事、潤滑油を使わないで代わりに水を利用した

潤滑方式のコンプレッサーで環境に優しく省エネで、価格がオイル方式の3倍でも結構売れているとの事です。

2社を見学した中でふっと思い出したのが矢張り先月の講演会に先立っての会長さんのいま一つのお話であります。「時世、時局に於ける生き様として、いつの時代でも使命感を持つ事が肝要なり。」と言われた事を思い出しました。

感じたのは2社とも社会で世の中で今何が必要なのか、何が足りないのかを見極め全社一丸である種の使命感を持って取り組んでいる事であります。活き活きとしております。

同じ時代に生きる者として矢張りエネルギーで活気ある姿を見れた事は大変に喜ばしく感じましたし不景気知らずの企業が他にも沢山あるやもと感じました。

少なからずも日本国民として、社会人として、事業人としての使命感は持ちたいものです。

今ロータリーも時代の波に少なからずも影響を受けております。会員の減少は最たる姿を映しているのではないのでしょうか。

そのロータリーに関連しての話をさせていただきます。

会員減少に関しての話は会員増強委員にお任せいたしまして、私は当三条クラブに入会させて頂き20年であります。お疑いのある方は会員手帳を確認して頂ければよろしいかと思います。縁あって入会させて頂いてロータリーと言う生き物に触れさせて貰いながら、多くの方々と出会いがありました。また、多くの経験もさせて頂きました。

クラブを通じてお付き合いをさせて頂いた方の中には不幸にしてお亡くなりになられた方もいらっしゃいます。

折角の機会です幾人かの方の思い出、私の目に映った範囲ですが紹介させていただきます。

最初に渡辺惣吉さんです。ご存知の方は多くいらっ

しゃるかと思えます。ワタソさんの社長さんです。

入会当初の私から見ればおじいちゃんでありました。私も今は、おじいちゃんではありますが。

入会間もない頃に卓話をさせて頂いた中での自己紹介で菩提寺名を言いましたら直に同じ菩提寺と言う事でお声を掛けて頂きました。渡辺さんは寺の総代でもありました。

青二才の私にいきなり資金繰りはこうした事もあったよ等の話と言いますか経営アドバイスをしてくださいました。私にとっては生きた経営指南を頂いた様なものです。

その渡辺さんも大の巨人ファンでありまして巨人が勝ったときには随分と機嫌が良かったこと、いつも腰が低く、穏やかでニコニコと笑顔が絶えなかったように記憶を致しております。

次は鈴木宗資さんです。三条商工会議所の会頭をお努めだった事は皆様さんもお存知の事と思えます。ダンディーなる出で立ちと粹な文化人と感じました。頓知が利いたユニークなお話を時折聞かされました。

それと私がSAAをさせて頂いた時です。8年前です。

SAAの席からは皆さんの顔がよく見え、且つ声が良く聞こえます。

鈴木さんが前のテーブル席の時でした。ロータリーソング斉唱では高齢にも拘らず大きな声で歌われ一際鈴木さんの声が良く聞こえたものでした。

しかし、いつもお疲れのせいなのかお上手に寝ておられました。それと鈴木さんのご自宅へ何回かお茶の勉強会に寄せて頂いた事も思い出されます。茶道具や掛け軸の良さは分かりませんが藤田先生がそつと説明してくれたり結構楽しくさせて頂いた事がついこの間の様に感じております。

お寿司が大好きだったのか「寿司は平井屋に限る!!」等と言いながら、ちらし寿司を食されておりました。良き思い出でもあります。

三条クラブ有難う！終わります。

次週例会 12月10日 外部卓話 ロッテ観光 新潟事務所  
所長 関口明美 様

次々週例会 12月17日 忘年家族会 PM6:30~  
於 ホテル新潟

